



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第20号

2026年1月23日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

2025冬休みわくわく算数教室 ～感想まとめ～

児童・生徒の感想

<1年生>

- ★ 疲れたけど楽しかった。たくさん花丸がとれて嬉しかった。
- ★ お姉さん先生がいっぱい教えてくれて楽しかったです。勉強ができて嬉しかったです。

<2年生>

- ★ 今日が最後で、昨日よりもプリントができて、楽しく勉強できました。いつもの勉強より楽しくできてよかったです。3年生になっても来たいと思いました。この調子で冬休みの宿題も頑張ろうと思いました。
- ★ プリントをやっていて止まる時もあったけれど、先生が教えてくれたのでできました。M先生の教え方が分かりやすかったです。同じ席の子とも友達になれたので嬉しいです。

<3年生>

- ★ 初めての参加でしたが、優しい友達や優しい先生がいてくれたので、最後の方は緊張がほぐれて楽に話せて良かったです。来年も参加したいと思いました。今日は教えてくれて本当にありがとうございました。
- ★ S先生が分からないところを教えてくれたので冬休みの宿題が早く終わりました。S先生が教えてくれたので、分かりやすかったし楽しかったです。新しい友達も増えて嬉しかったです。昨日よりも、もっと楽しかったです。

<4年生>

- ★ 苦手なところができるようになりました。次も同じ先生が良いです。冬休みの宿題もできました。
- ★ 分からなさそうだったら、先生から「分かる？」と声をかけてくれたのでとても助かりました。分からなかったところも完璧に覚えられて、プリントを6枚もやれました。明日も頑張りたいです。

<5年生>

- ★ SPの先生が面白かったです。楽しかったし、苦手な割合が解けて嬉しかったです。
- ★ 割合や分数などは理解が曖昧だったのですが、しっかり理解できました。2学期の復習にもなりました。また機会があったら行きたいです。

<6年生>

- ★ 比例、反比例、縮図、拡大図以外の2学期で習ったことも復習できました。楽しかったです。中学生になっても来たいです。
- ★ 先生の説明が分かりやすかったです。復習ができて楽しかったです。算数のことが少しだけ好きになりました。分からないところをちゃんと勉強できました。

SPさんの感想

今日は3年生を担当しました。教育実習で3年生を担当しましたが、その子たちとはまた様子が違って、一緒に勉強していて楽しかったです。算数よりも話で盛り上がる場面が多かったのですが、感想の紙に2人とも「楽しい」と書いてくれて、問題を解くことも大切ですが“その環境が楽しかった”という経験も大切だなと思いました。解けるけれど自信を持ってない様子も見られたので、今後のわく算で自信を持てるようになってくれると嬉しいです。また、今日は初めて司会をさせていただきました。中村先生からもご指導いただくことができ、「何を言うかではなく、どう伝えるか。」という言葉が印象に残り、とても勉強になりました。難しいですが、これから少しずつ意識していきたいです。昨日担当した子が、私が前に立つと「頑張れ〜！」とサインを出してくれて、その気持ちがとても嬉しかったです。小学校教諭として働く中でも、そうした経験ができると思うと、4月からの生活がとても楽しみになりました。

【金城学院大学 4年】

初めて感想に「教えてもらって分かった」と書いてもらい、感無量というかとても嬉しかったです。自分としても手ごたえを感じながら教えることができたので、このまま励んでいきたいです。前回の反省点を踏まえて、今日はスモールステップを意識し、子どもの理解度に合わせた指導ができたと思います。一から十まですべてを教えるよりも、段階的に教えながら“気づかせる”方法の方が、子どもたちの応用力や理解度が上がるのではないかと思いました。

【愛知淑徳大学 2年】

夏に参加した経験を生かして、まずは目の前の子と関係を作ることから始めよう、と意識して積極的に自分からコミュニケーションを取りました。何をやるのか決まらず、困った時もありましたが、「こっちとこっちならどっちがやりたい？」など、選択肢を作りながら決めていくとスムーズに進めることができました。「分からない」と自分から言い出せない子もいるので、手が止まっていたら自分から声掛けしていくと良いと思いました。一人ひとりに向き合うことを1番に、考えることを忘れないようにしていきたいです。

【名古屋学芸大学 1年】

1人に集中してしまうともう1人の子が放置されている状態になってしまうので、バランスよく見ないといけないと思いました。概念を教えるのがすごく難しいと思いました。分からないものだ、いつかどこかで分かるようになる、と割り切って根気よく付き合っていくことも大切だと学びました。一人ひとり、できることとできないことがあるので、目の前の子に向き合い、その子に合った教え方やアドバイスの仕方も考えていかなければならないと思いました。教科書をメインで取り組むよりも、既習事項のプリントも使っていくと良いと思いました。問題集によっても問題や出題の仕方が違うので、たくさん使っていくと良いと思いました。

【東海学園大学 2年】

どの子どもたちも意欲的に学習に取り組むことができている、正直助けられたところがありました。今日の活動を楽しんでくれていたようだったので、嬉しく思いました。今回は初参加ということもありましたが、勝手に掴むまでに子どもたちにしっかり向き合うことができていなかったのが反省点です。後半は1人指導だったということもあり、丁寧にコミュニケーションを取りながら進められたので良かったです。

【愛知大学 4年】

初めてだったので少し緊張しましたが、しっかり教えることができたので良かったです。学年や人によって理解のスピードやつまづくポイントが違い、説明の仕方を柔軟に変える必要性を感じました。身近な例を使うと興味を持ってくれる場面も多く、伝え方の大切さを実感しました。今後は子どもの反応を見ながら説明を調整し、より分かりやすい指導を心掛けたいです。

【大同大学 3年】

担当する児童が高校の範囲の数学を勉強していると聞いて、「私に教えることができるのだろうか？」と不安でしたが、その子も他の子と同じ“一人の児童だ”という事実は変わらないと思ってからは、楽しく過ごすことができました。展開の問題では、1項ずつ地道に展開すれば問題が解けるところを、方法を工夫して試行錯誤していたので、数学が大好きだという気持ちが伝わってきました。1つの問題からたくさんの「なぜ」「なんで」を出していた姿を見て、私も見習いたいと思いました。私の問いで笑顔を引き出したこともあったので、良かったです。 **【愛知教育大学 4年】**

「算数が嫌い」と聞いていましたが、プリントをスムーズに進めていて、しっかり理解できていると感じました。ただ、問題によっては思うように立式できなかつたり、戸惑ったりする瞬間も見られたので、落ち着いて進めることを促しました。枚数をこなすことだけを目標に設定しないように、話合って学習することを決めるようにしました。量をこなすことだけに気が向きすぎると、字が雑になっていったので、内容と量のバランスを取ることが難しいと感じました。 **【相山女学園大学 4年】**

式は間違っているけれど、考え方は間違っていない場合の指導に苦労しました。反応が薄く、理解できているかどうか見えづらかったのですが、「どうして?」「どう考えた?」と問いかけ、児童の発言を積極的に聞きながら進めるようにしました。数列に取り組んでいた子に、効率の良い考え方を伝えるべきか否か、その方法でやらせるべきか否かを考える必要があつて苦労しました。いろいろ教えたくなってしまうのですが、自分の考え方ややり方で集中して考え続ける姿勢も見られたので、それで良かったのかなと思いました。 **【名古屋芸術大学 3年】**

今日担当した2年生児童は九九をやりたいようだったので、7~9の段や学年のまとめなどに取り組みました。2人ともすぐに終わらせて次のプリントを選んでいて、夏休みの時よりも成長していると感じ、ビックリしました。2人の苦手なポイントをつかんだところで今日は終了になってしまったので、悔しかったです。 **【日本福祉大学 3年】**

できるだけ児童自身で考えて、その考えをまとめてレベルアップできるような指導をしていきたいと考えていますが、果たしてこのやり方は合っているのか?方法や声掛けはできているのか?課題だらけだと感じました。午後は高校の問題に取り組んでいる児童を担当したのですが、少しでも疑問があると「なんで?」と率直に聞いてきてくれたので、専門性が試されました。小学校や中学校の先生だからといって、専門性を疎かにしてはならないと痛感しました。 **【名城大学 3年】**

元々担当予定だった児童が欠席になったため、他のSPさんの担当児童と一緒に指導することになりました。勉強を教えることも大切でしたが、まずは楽しく、児童とコミュニケーションを取ることが大切にするよう意識しました。 **【至学館大学 3年】**